✅ 発電における再エネ比率 90%以上の主な国（発電ベース）

※数値は主に 2022～2023 年の国際機関（IEA、IRENA、Ember など）のデータをもとにした近年の傾向です。

国名	再エネ比率の主な電源	補足
アイスランド	水力、地熱	再エネ比率 ≈ 100%（地熱が特徴）
ノルウェー	水力	≈ 98～99%
ウルグアイ	水力、風力、太陽光、バイオマス	≈ 95%以上
パラグアイ	水力（イタイプーなど）	≈ 100%（輸出も）
コスタリカ	水力、地熱、風力	≈ 98～99%
ネパール	水力	≈ 90%以上（山岳水力）
ラオス	水力	≈ 90%以上
エチオピア	水力	≈ 90%以上（再エネ成長中）
アイスランド	地熱＋水力	≈ 100%
カナダ（州による）	水力中心（ケベック州など）	全国では ≈ 60%、州によっては 100%

◈ 再エネ比率 80～90%の国々（参考）

国名	主な電源	備考
ニュージーランド	水力、地熱、風力	≈ 85～90%
ポルトガル	水力、風力、太陽光	≈ 88%（2023 年下期）
デンマーク	風力中心	≈ 85%（一部輸入あり）

補足：

- **定義に注意**：ここでの「90%以上」は主に**発電に占める割合**です（一次エネルギー供給ではありません）。
- **再エネの内訳**：多くは水力、風力、地熱ですが、バイオマスや太陽光も含まれます。
- **変動性電源**が多い国（例：デンマーク、ポルトガル）は、他国との電力連系に依存していることもあります。

再エネ比率が非常に高い国の多くは、自然条件（水資源・風力・地熱など）に恵まれており、また、**電力需要が比較的小さい**という特徴があります。一方、先進国でも日本のように再エネ比率がまだ 30%台の国もあります。

発電における
自然再生エネルギーの多い国
国名 再生可能エネルギー比率 主な電源
アイスランド 約100%水力・地熱
パラグアイ 約100%水力(イタイプー水力)
ノルウェー 約98～99% 水力
コスタリカ約98～99% 水力・地熱・風力
ウルグアイ 約95%以上 風力・水力・太陽光
ネパール 約90%以上 水力
ラオス 約90%以上 水力(輸出も)
エチオピア 約90%以上 水力